一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする ---- 地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ ----



2025年9月30日

コロンビア・ワークス株式会社向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」 の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、2025年9月30日(火)、コロンビア・ワークス株式会社(代表取締役 中内 準)に対する「ポジティブインパクト評価」をもとに、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、 事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会の パートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲー ジメントバンクグループを目指してまいります。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト(ポジティブならびにネガティブな影響)を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGsの達成を目指す融資手法です。

当行が実施する「ポジティブインパクト評価」は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同して行い、事業者さまのKPI(目標)設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見※1を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)^{※2} の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

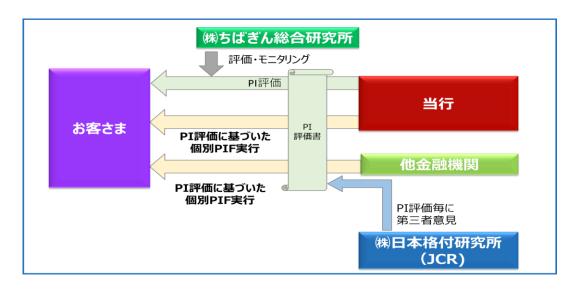
- ※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。(https://www.jcr.co.jp/greenfinance/)
- ※2 国連の補助機関である国連環境計画 (UNEP) と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

■コロンビア・ワークス株式会社について

コロンビア・ワークス株式会社は首都圏を中心に全国規模で総合不動産事業を展開する「コロンビア・ワークスグループ」の中核企業です。グループでは、不動産開発を軸に、不動産賃貸管理、ホテル運営、アセットマネジメントなど総合的な不動産サービスを提供しているほか、保有する太陽光発電施設を活かした売電事業なども行っています。メイン事業の不動産開発では、レジデンスからオフィス、ホテルなど様々な物件の開発を手掛け、豊富なノウハウを活かして企画から開発、運営までの一気通貫のサービスを提供しています。

本ローンで設定するKPIは、重大な労働災害数ゼロの継続、毎年度1件以上の太陽光発電設置の取組み、リノベーション件数の増加であり、これらの社会面、環境面、経済面の取組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

<スキーム図>



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ 効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人		
資 金 使 途	運転資金または設備資金(特定の資金使途に限定しません)		
融資金額	100 百万円以上		
融資利率	融 資 利 率 当行所定利率		
融資期間	原則、3年以上		
K P I (目標)	SDGs達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてKPIを設定していただきます。 (1)1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2)潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標		

【コロンビア・ワークス株式会社向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

【コロンピケーケークへ体式会性向け、うはとルホンティットファイテンス』の概要】				
貸	出先	コロンビア・ワークス株式会社		
契	約締結日	2025年9月30日(火)		
融資形態		証書貸付		
融資金額 (使途)		300 百万円(運転資金)		
融資期間		3年	T	
	領 域 (テーマ)	取組内容およびKPI (目標)	関連するSDG s	
評価内容	社 会 (健康及び安全 性、)	・重大な労働災害数ゼロを継続する (これまでの発生件数:0件)	3 すべての人に 健康と相往を	
	社会(資源とサービスの入手可能性、手ごろさ、品質)、環境(気候の安定性)	・太陽光発電の設置に毎年度 1 件以上取り組む (2024 年度実績: 0 件)	7 エネルギーをみんなに モレてクリーンに ープー 13 気候変動に 具体的な対策を	
	社 会 経 済 (健全な経済)、環境(サーキュラリティ)	・2029 年度までにリノベーション件数を年間 10 件まで増加させる。 (2024 年度実績 5 件)	8 備きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 こかう責任	

上記KPIについては千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その 他 進捗状況について年1回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。